

## ■ ■ 俺が<sup>まも</sup>守護らねばならぬ ■ ■

色々と環境やシステムが変わっていくコミケット、依然として脅威が去ったわけではない新型コロナ。そこに参加するとなれば、参加者側も何かと不安や気があるかもしれない。この不安定な時だからこそ、それでも敢えてビッグサイトに集った参加者同士が積極的に助け合えば（夏が暑いのは不可避としても）、過酷なだけではない、参加者に優しいコミケットを作っていくことはできる。以下に挙げる事柄は1つ1つはそれほど難しいことではない。気づいたこと、できそうなことからやってみて欲しい。

### ■ ■ まずは自分を守る ■ ■

- 新型コロナ、インフルエンザ、風疹など流行している感染症を予防するワクチンは可能なら接種しておこう。また、普段もう日常でマスクを着けていない方も、往復の交通機関や入場待機列も含め周囲に他の人々がいる状況では必要に応じてマスクの着用をお願いしたい。
- 重い同人誌の詰まった箱を扱う時は滑り止め効果のあるグローブを着ける、靴の中敷き（インソール）をウォーキング用の物に交換するなど、負傷防止や疲労低減のために有効なグッズ類を積極的に活用しよう。また、万一に備え、簡単なものでもファーストエイドキットは各自用意しておきたい。

### ■ ■ できれば周囲を守る ■ ■

- 周囲の参加者には常に目を配るようにしよう。特に入場や購入の待機列では、並んでいる間に体調を崩したり、気分が悪くなってしまう人が発生しやすい。また、台車が荷崩れしてしまったり、重い箱の運搬に四苦八苦している参加者もよく見受けられる。近くに気分が悪いのかな？困っているのかな？と思われる参加者がいたら、声をかけ、手を貸そう。同じ参加者同士、助け合うことに遠慮は不要だ。声をかけるのが難しかったら、スタッフに連絡するだけでもよい。見て見ぬふりはやめよう。

- 熱中症が疑われる、またはその兆候がある参加者は、もし声をかけて『大丈夫です』という返事が返ってきてても注意しておこう。

#### ■ ■ 熱中症の危険サイン ■ ■

- ・ 身体がぐらぐらとふらついている。
  - ・ 同じ場所に同じ体勢で座り込んだまま、ぐったりとしている。
  - ・ 顔色が赤い、逆に唇の色が薄く、顔色が悪い。
  - ・ ぼうっとして受け答えが不自然だったり、舌が回っていない。
  - ・ 呼吸が荒く、浅い。
  - ・ 身体や指先などが細かくふるえている。
  - ・ 脚が攣った、と訴えている。
- マスク、ポケットティッシュやウェットティッシュ、絆創膏などのちょっとした消耗品は多めに予備を持参し、必要そうな人がいたら分けてあげられるようにするとよい。
  - 機会があれば積極的にAED（自動体外式除細動器）の使用法講習を受けておこう。あわせて、軽い傷や捻挫、軽度の熱中症などに対する予備知識を得ておく、応急手当ての方法を事前に予習しておくとなおよい。



#### ●もしがしたら命を守るファーストエイドキット

- |                          |                                     |
|--------------------------|-------------------------------------|
| ・ 絆創膏数サイズ各5枚             | ・ 個包装マスク数枚                          |
| ・ 液体消毒薬1本                | ・ 包帯1巻                              |
| ・ 滅菌ガーゼ1,2枚              | ・ 湿布1包                              |
| ・ アルコール（75%以上）のウェットティッシュ | ・ 解熱鎮痛剤／風邪薬<br>胃腸薬（下痢止め）／<br>などの常備薬 |
| ・ ポリ袋2,3枚                | ・ メディカルカード                          |
| ・ ラテックス手袋                |                                     |

医薬品以外のほとんどが100円ショップでも調達可能だ（メディカルカードは自作する）。これらをジップ袋や、水が入りにくい容器に入れて携帯する。女性参加者は念の為生理用品も加えておくとよい。